◆ 自動ブレーキ装置 ◆

立ち止まり君
≪取扱説明書≫

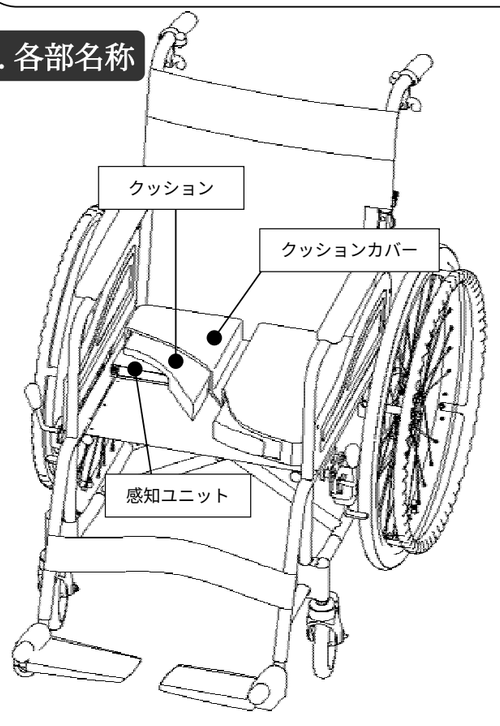
このたびは、㈱松永製作所の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や使用方法が説明してあります。ご使用になる前に必ずお読みください。
また、**車いすの取扱説明書も合わせてお読みください。**

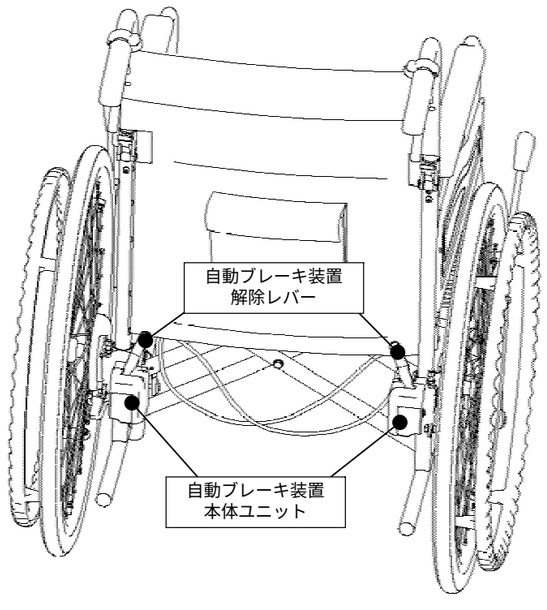
この「立ち止まり君」は、ブレーキのロックを忘れ不意に使用者が立ち上がった場合でも、車いすの後輪を自動的にロックすることで転倒を防ぐ補助機器です。
車いすの乗り降りの際には、**必ず車いすに装備されている駐車ブレーキを使用してください。**

ご使用まえに

◆ 必ず車いすに装備されている駐車ブレーキを使用してください。
（「立ち止まり君」は万一の際を想定した補助機器です。**（駐車ブレーキとしての使用はしないでください。）**
◆ 各部の**ボルト類の調整は行わないでください**（メンテナンス部は除く）。お買い求めの販売店までご相談ください。
（装置が故障したり、自動ブレーキが作動しなくなる恐れがあります。）
◆ 座面に**強い衝撃を加えないでください。**勢いをつけて座らないでください。
（装置が故障して、自動ブレーキが作動しなくなる恐れがあります。）
◆ **体圧分散能力の高いクッションと共にご利用いただく場合**は自動ブレーキ装置が作動することをご確認後、ご利用ください。
（自動ブレーキ装置が働かない恐れがあります）
◆ **体重が 40kg 以下の方がご利用される場合**、ロック機能が働くかどうか確認のうえ、ご利用ください。
◆ 体幹不良として、**極度な側ワン、仙骨座りをされてしまう方**については、ロックが掛からない場合がありますので、御使用については、ご相談ください。

1．各部名称





この説明図の車いすは一例です。
お買い求めになられた車いすと異なる場合があります。

2．使用方法

◆ 通常の車いすと使用方法は基本的に変わりません。車いすの取扱説明書も合わせてお読みください。

＜乗る場合＞

① 車いすの駐車ブレーキをロックします。
② 座面にゆっくりと座ってください。
③ 車輪の自動ロックが解除されます。
駐車用ブレーキを解除し車いすを操作してください。

⚠ 注意
● 座面には**深く**腰掛けるようにしてください。
（前の方に腰掛けると、車輪のロックが解除されず車いすを動かすことができません。）

＜降りる場合＞

◎ 駐車用ブレーキをロックし、フットサポートを上げ、ゆっくりと車いすから降りてください。（車いすの取扱説明書を参照してください。）
◎ 万一、駐車用ブレーキのロックを忘れ車いすから降りた場合には、自動ロック装置が働きます。

⚠ 注意
● 必ず車いすに装着されている**駐車用ブレーキを使用してください。**
● **車いすに乗っていない状態**で車いすを動かす際には、**必ず自動ブレーキのロック解除操作**を行ってください。
（自動ブレーキ装置がロックしたままの状態で車いすを無理に動かすと、床を傷つけたり、車いす、装置の故障につながり自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）

＜折りたたみ方＞

◎ フットサポートを上げ、座面（シート）の前方と後方の中央を同時に持ち上げます。（車いすの取扱説明書を参照してください。）

⚠ 注意
● 必ず車いすに装着されている**駐車用ブレーキを使用してください。**
● **車いすを折りたたんだ状態**で車いすを動かす際には、**必ず自動ブレーキのロック解除操作**を行ってください。
（自動ブレーキ装置がロックしたままの状態で車いすを無理に動かすと、床を傷つけたり、車いす、装置の故障につながり自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）
● 折りたたんだ後は、**ワイヤーが挟まったりしていないか確認**してください。

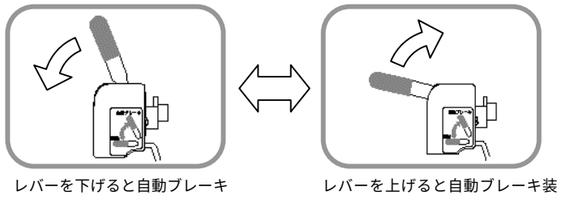
＜拡げ方＞

◎ 通常の車いすと同様に、座面（シート）の端（右または左）を下に押し下げます。（車いすの取扱説明書を参照してください。）

⚠ 注意
● **手や指を挟まないように**十分注意してください。
● 車いすを拡げた後は、**座面中央部にクッションがあることを確認**後、ご利用ください。
（自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）
● 拡げた後は、クッションの位置を直し、座パイプの下等に**ワイヤーが挟まったりしていないか確認**してください。

＜解除レバーの使用方法＞

● 車いすに人が乗っていない場合には、自動ブレーキが掛かります。
人が乗っていない状態で、車いすを移動させたい場合などには、この自動ブレーキのロック解除を行うことが可能です。
ただし、**解除したままでは自動ブレーキ装置が働きませんので、このロック解除レバーの使用には十分に注意してください。**



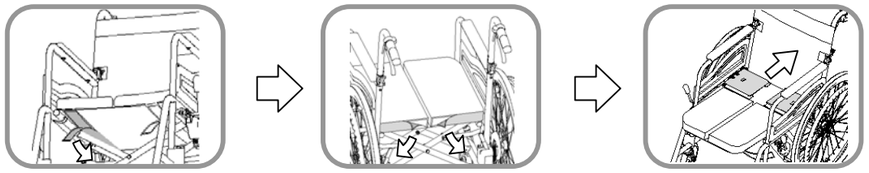
レバーを下げると自動ブレーキのロック解除が出来ます。
レバーを上げると自動ブレーキ装置が働きます。
（通常は上げておいてください）

⚠ 警告
自動ブレーキ装置の**解除レバーの使用には十分に気をつけてください。**
車いすを移動した後は、**すぐに自動ブレーキ装置を使用状態にもどしてください。**
（不意の際に自動ブレーキ装置が働かず、事故の原因となるおそれがあります。）

⚠ 注意
● 解除レバーの操作は**必ず手で行ってください。足などで行わないでください。**
● レバーの**位置に注意**してください。
（レバーが途中の位置では自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。また、装置が故障する恐れがあります。）

<クッション（カバー）の外し方>

● クッションを交換したい場合、クッションカバーを洗いたい場合などにはクッション（カバー）を取り外すことが可能です。



① 座面下のマジックテープを剥がします。

② クッションカバー後部のマジックテープを剥がします。(左右共)

③ 内部の部品をゆっくりと引き出します。この時、ワイヤーを引っ張らないでください。

◎ 取り付ける場合は、逆の手順で行ってください。

⚠注意

● **ワイヤーを持って**引っ張り出さないでください。
（ワイヤーが伸びたり、ちぎれたりして自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）
● クッション（カバー）を取付けた場合には、**必ず自動ブレーキ装置の作動を確認**してから使用してください。
（クッションやカバーが内部部品に挟まったりして、自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）

3．使用上の注意

◆ 次のような行為や操作は、装置の破損の原因となります。絶対に行わないでください。
- 座面に強い衝撃を加えること
（座面にはゆっくりと腰掛けるようにしてください。勢いをつけて座らないでください。）
- 解除レバーを足で操作すること。
（必ず手で操作してください。）
- ワイヤーを引っ張ること。無理に曲げること。
（ワイヤーが伸びたり、切れたりして自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）

◆ 次のような環境では使用を避けてください。万一、このような環境で使用した場合には、使用後に必ずメンテナンスを行ってください。
- 水などの液体がかかる場所
（座面が濡れた場合は、すぐにクッション（カバー）を外し、乾燥させてください）
- 泥や砂がかかる場所、ホコリが多い場所
（本体内部に異物が混入し、自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります）

⚠注意

● 座面（クッション、カバー）が**濡れた場合には、すぐに使用を中止し、クッションカバーを取り外し**てください。
内部部品、クッション、カバーが**完全に乾いてから**元に戻し、使用してください。
（部品がさびて、自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）
● 泥や砂がかかった場合には、すぐに**使用を中止し、泥や砂を落としてください。**
（装置本体内部に泥や砂がつまり、自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。）

4．点検

◆ いつでも安全にご使用していただくために、定期的に点検・メンテナンスを行ってください。

	点検年月日（点検者）					
点検項目	年　月　日	点検者	年　月　日	点検者	年　月　日	点検者
自動ブレーキのロック／解除の確認（実際に乗り降りして機能に問題が無いか確認してください。）						
解除レバーの動作（ロック／解除）確認（左右それぞれ確認してください。）						
各部（ワイヤー、本体）の傷、磨耗状態						
各部に注油をしてください。（次ページ<注油箇所>参照）						

5．「故障かな？」と思われる時には

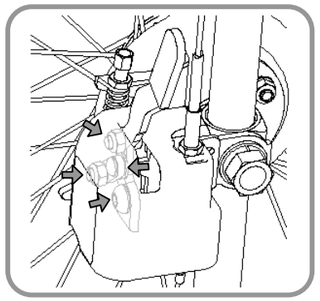
◆ ご使用中に、「故障かな？」と思われるトラブルが発生した時には、修理を依頼する前に下記の項目を確認してください。
◆ 無理に調整を行うと、自動ブレーキ装置が働かなくなる恐れがあります。下記の項目を確認しても直らない場合には、すぐに使用を中止し、販売店までご連絡ください。

トラブル	確認点	対処方法
人が降りても自動ブレーキがかからない	・自動ブレーキのロックが解除になっていませんか？	自動ブレーキのロックレバーを元に戻してください。（⇒解除レバーの使用方法）
	・ワイヤーがねじれたり、引っかかったりしていませんか？	ワイヤーのねじれ、引っかかりを除いてください。
	・本体にごみ等が挟まっていませんか？	取り除いてください。（取り除くことが難しい場合には無理に行わず、販売店までご連絡ください。）
人が乗っても自動ブレーキが解除されない	・前の方に腰掛けていませんか？	座面には奥のほうに深く腰掛けてください。
	・ワイヤーが外れたり、切れたりしていませんか？	販売店までご連絡ください。
	・ワイヤー止め金具部に隙間が出来ていませんか？	ワイヤー止め金具の調整をしてください。（⇒ワイヤー止め金具の調整）
車いすを動かすとカラカラと音がする	・前の方に腰掛けていませんか？	座面には奥のほうに深く腰掛けてください。
	・ワイヤー止め金具部に隙間が出来ていませんか？	ワイヤー止め金具の調整をしてください。（⇒ワイヤー止め金具の調整）

6．お手入れの方法

◆ 清掃は、泥やホコリを乾いたタオル等で取り除くようにしてください。
ホースなどで直接水をかけないでください。装置内部に水滴が残り、さびの原因となります。
◆ 車いすに異状がある場合には、販売店で点検・修理を行ってください。
そのままの状態でご使用になると、使用中に破損し、事故の原因となります。

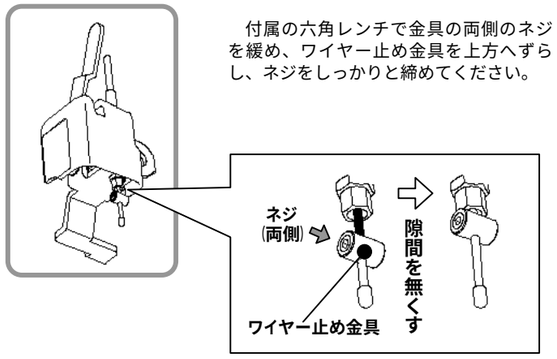
<注油箇所>



装置本体のリンク部分にスプレーグリス（延長ノズルタイプ）を使用して注油してください。
カバーの隙間（レバー部分）から注油していただけます。

<ワイヤー止め金具の調整>

ご使用中に自動ブレーキ装置からカラカラと音がする場合には、ワイヤー止め金具部に隙間が出来ていないか確認してください。
隙間がある場合は、ワイヤー止め金具の調整を行ってください。



付属の六角レンチで金具の両側のネジを緩め、ワイヤー止め金具を上方へずらし、ネジをしっかりと締めてください。

<アフターサービス>

◆ 万一故障の場合には、お買い上げいただきました販売店、または㈱松永製作所まで修理をお申し付けください。

<販売店>

株式会社 松永製作所
〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270
URL http://www.matsunaga-w.co.jp

09.03